



認定NPO法人 全国こども食堂支援センター

むすびえ

認定NPO法人
全国こども食堂支援センター・むすびえ

Annual Report 2024

2024年度 活動報告書



湯浅誠よりごあいさつ

Message from Yuasa Makoto

— 喜ぶべきか、悲しむべきか、それが問題だ

2024年、こども食堂は全国で1万カ所に達し、中学校数※1を超えました。自宅から中学校まで1kmある人は、半径1kmのうちのどこかにこども食堂がある、あっておかしくない世の中になりました。

この現状を喜ぶべきか、悲しむべきかに関して、世の中には両方の意見があります。

こども食堂を「貧困対策」と位置づける人にとっては、こども食堂の増加は貧困の子がたくさんいる証だとなりますから、それは悲しむべきこととなります。またその立場からは、貧困がなくなればこども食堂も不要になるので、こども食堂のゴールはゼロになること、つまりこども食堂のいない世の中になることだ、となります。

他方、こども食堂を地域交流拠点と位置づけた場合には、こども食堂の増加は人々のつながりの増加を意味しますから、喜ばしいこととなります。人間は社会的な動物であり、「誰か」を感じながら生きていきたい。この場合、こども食堂のゴールは星の数ほどあること、という真逆の結論になります。

むすびえは後者の意見です。理由は、事実として多くのこども食堂が参加に条件を設けず、広く地域の人たちを受け入れて運営されているからです。事実・実態を踏まえた発信をお願いしています。

しかしそれは貧困対策と無関係ということを意味しません。貧困や虐待その他の課題を抱えていたとしても「相談に行く」というのは勇気がいるものです。そもそも自覚がない場合も多い。誰でも行ける場所だから抵抗感(スティグマ)なく行けて、そこで出会い関わったから気づけたというエピソードが、こども食堂には溢れています。万能な取組みはありませんが、こども食堂は貧困対策としても有効です。

「みんなの中に課題のある誰かを包みこむ」というこども食堂が、これからも地域と社会に普及していくことを願っています。

なお、2025年6月総会をもって、むすびえ理事長を退任しました。※2これまで本当にありがとうございました。これからも、こども食堂およびそこに集う人たちをどうぞよろしくお願いします。

2025年6月吉日

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 前理事長
社会活動家、東京大学特任教授

湯浅誠

※1 文部科学省「令和6年度学校基本調査(確定値)」における公立の中学校数および公立の義務教育学校数の合算

※2 2025年6月16日に湯浅誠が理事長を退任し、三島理恵が就任しました。役員体制変更の詳細についてはp.15をご覧ください

活動報告書 コンテンツ紹介

Contents Introduction

こども食堂が全国1万カ所へ——

皆さまのあたたかなご支援に支えられ、
全国各地で多様な活動を展開することができました

— こども食堂って、どんなところ？

運営者さんの想いが込められ、地域のあたたかい居場所となっている「こども食堂」。名前は知っていても行ったことがない方も多いのではないのでしょうか。家とも学校とも違う、ほっとできる場所——。そんなこども食堂の「今」をご紹介します。



P.05~

— むすびえの1年間の活動

むすびえは常時複数のプロジェクトに取り組んでいます。全国各地の地域ネットワーク団体への伴走支援やこども食堂への支援物資仲介、資金支援の企画・実施、企業からの支援をつなぐこと、行政への働きかけなど、「誰も取りこぼさない社会」の実現に向けた1年間の取り組みの一部と、支えてくださった寄付者の皆さまの声をご紹介します。



P.06~

— 活動事例のご報告 ~むすびえの3事業より~

むすびえの3つの分野の事業、「地域ネットワーク支援事業」、「企業・団体との協働事業」、「調査・研究事業」より、2024年度に実施した活動について、協働した企業・団体の皆さまからのメッセージ、支援をお届けした団体やこども食堂からの声、むすびえ担当者の声とともにをご紹介します。



P.08~

— 財務報告と、新体制への歩み

2024年度の財務報告、お寄せいただいたご支援とその使途を、感謝を込めてご報告いたします。

むすびえは2025年6月より、新体制をスタート。役員体制変更において大切にしたいプロセスと、これからの決意をご紹介します。



P.14~

About Musubie

こども食堂の支援を通じて、
誰も取りこぼさない社会をつくる。

Action



02

What are Kodomo Shokudo?

こども食堂を
全力で応援する
「てーぶい」だよ

Copyright © Musubie x Interbran

子ども食堂の7割が参加条件を設けていません。子どもを中心に幅広い世代の人たちが食を通じて交流する「みんなの居場所」です。地域のにぎわいや高齢者の生きがいがづくり、孤独孤立や貧困などの課題の改善にも寄与しています。

民間発の取り組みで、任意団体・NPO法人・個人の順に多く、運営者さんの想いによって、その在り方は多様です。ボランティアでの運営が多く、たくさんの方の応援に支えられています。

こども食堂は どのくらいあるの？

年	従業員数 (人)	定員数 (人)
2016	319	9,500
2017	2,286	9,500
2018	2,286	9,500
2019	4,962	9,500
2020	3,714	9,500
2021	6,014	9,500
2022	7,363	9,500
2023	9,132	9,500
2024	10,867	9,265

2024年度、全国に「10,867カ所」あることが確認されたこども食堂。公立の中学校・義務教育学校の合算(9,265校)を上回るまでに増えています。むすびえは、誰もが安心して行ける環境を整えるため、子どもが歩いて行ける距離の目安として、全小学校区に1つ以上のこども食堂がある状態を目指しています。

人間関係や地域のつながりが希薄になった現代。地域に頼れる人がいる、誰もが「居場所」と感じられる場所がある、みんなで子どもの成長を見守る。むすびえは、そんな誰にとってもやさしい地域のひとつのインフラとして、こども食堂が「あたりまえ」にある社会を目指しています。



＼ こども食堂をデータで読み解く！ /

「調査・研究ページ」



03

私たちの取り組み

Our Initiatives

▲公益社団法人ACジャパンによる2024年度支援キャンペーン(テレビCM等)がスタート。松重豊さん出演『子ども食堂は、あなた食堂。』

★スターバックス コーヒー ジャパン(株)より、新潟県内でのクラフト体験のプログラム提供を支援



★「むすびえ・子ども食堂基金」春募集にて、子ども食堂432団体、13の地域ネットワーク団体を支援



★急な米不足をうけ、「子ども食堂」9月開催用のお米の提供を仲介支援

★愛知県高浜市と「多世代及び子どもの居場所づくりに関する連携協定書」を締結

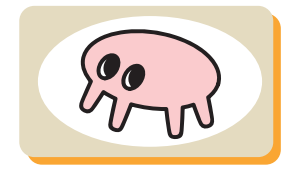
▲社会課題解決に取り組む方々から「誰も取りこぼさない社会」を作るためのヒントを学ぶ、むすびえのブランドポッドキャスト『むにむに〜世界を変える社会起業家〜』を公開



★「むすびえ・子ども食堂基金」秋募集にて、子ども食堂326団体、9の地域ネットワーク団体を支援

◆子ども食堂全国箇所数調査：子ども食堂数が日本で初めて1万カ所を超え、公立中学校数を上回る(10,867カ所、2024年度確定値)

★インターブランドジャパンのプロボノ支援で子ども食堂の楽しさ・魅力を伝え、全力で応援するキャラクター「てーべい」が誕生



★ファミリーマートより、助成プログラム等を通じて全国延べ1,718団体に総額99,831,219円を助成(※2024年度助成期間とした事業の採択ベース)

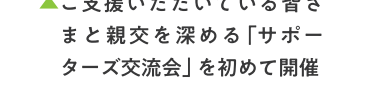


▲韓国・ソウル特別市衿川区の自治体職員がむすびえを視察



▲渋谷区の「ふるさと納税型クラウドファンディング」に採択され、1,818万7千円のご寄付が集まる

▲ご支援いただいている皆さまと親交を深める「サポーターズ交流会」を初めて開催



●全国の地域ネットワーク団体が集う「全国交流会2025」を開催。全国41都道府県から地域ネットワーク団体、自治体職員、企業団体の方など200名が交流



★米日財団・ロサンゼルス・ドジャースよりご支援



©慶應義塾 広報室

2024

2025



継続支援

●石川県の地域ネットワーク団体や子ども食堂団体と連携、また他のNPO団体と協働し、石川県の後援をいただきながら能登半島支援を継続。2024年度に11回の出張子ども食堂と10回の立ち上げ相談会を開催



★TOHOシネマズ企画・主導のもと開催した「いっしょにみると楽しい!シネコンへのポケモン遠足!」に、ポケモン・ウィズ・ユー財団、地域ネットワーク団体と共に協力



© Pokémon. © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.

★経済同友会幹事による子ども食堂の現場体験。「冬休み子ども食堂支援」につながる



▲Forbes JAPAN「今注目のNP050」に選出

★世界のカーリング選手によるチャリティプロジェクト2025 Curling Calendarを通じて小穴桃里選手よりご支援



◆『子ども食堂に関する認知調査』認知率は初めて9割を突破し91.4%、「内容も知っている」は49.4%に微増、参加率は6.1%に上昇

●全ての都道府県で「地域ネットワーク団体」が発足

★「リシャールミルジャパン × むすびえ 子ども食堂応援プロジェクト」ご支援をいただいたスナッグゴルフセットを活用し体験会を開催。50名の親子がスナッグゴルフと子ども食堂を体験



★子ども家庭庁 令和6年度「ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業」実施



むすびえの活動を 応援してくださっている 個人支援者の方々からの メッセージ



“ 日本各地のコミュニティがこれからどうなっていくのか。まだ十代前半の子どもを持つ僕にとってもこの問題は重大事です。この誰にとっても将来の先行きが見えない日本で、突破口になるような場所があるという実感を感じられるような出会いが得られたらと思い、支援します。

伊藤和芳さん



“ 自分が世の中から得た幸せを、再び社会に戻していくことが課題だと思っています。

匿名希望



“ 決して華やかさはない社会活動ですが、絶対に必要な活動の一つと考えています。多くの企業さまとも連携して、資金や人的支援が受けられるよう尽力することで、本活動のさらなる飛躍を期待しています。

杉山 充男さん



“ 社会の分断が進む中、子ども食堂は「みんな食堂」として、よりいっそうのムーブメントを期待されています。ぜひこの素晴らしい活動を続けて、拡大してってください。

M.S.さん



“ いずれ自分で子ども食堂を運営することが夢です。そのためにできることからしていきたいと思っています。

平田 美友紀さん



地域ネットワーク支援事業

全国各地でこども食堂を支えている地域ネットワーク団体（中間支援団体）がより活動しやすくなるための後押しを行っています

PROJECT 01

こども食堂支援活動の実態を共有～お宝シェア会議事業～



こども食堂の立ち上げや継続を地域で支える、各都道府県の地域ネットワーク団体の皆さんが、活動を通じて得た成功体験や悩みを「お宝」として毎月1回共有するオンライン交流会を開催。この取り組みは今年で5年目。顔を見ればホッとするような信頼関係が築かれ、そのつながりを土台に専門分野を教え合うアドバイザー派遣制度やリアルお宝会議も始まり、互いの学びと交流がより深まっています。

VOICE 課題共有から支援企業紹介にも結実

NPO法人
神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク
理事 佐藤 由加里 さん



アドバイザー派遣制度で岩手県ネットワーク団体を訪問。盛岡市に加え、震災以降気になっていた陸前高田市で意見交換を行い、行政職員やこども食堂の責任者と現状や運営に関わる課題を共有。岩手の皆さんからは「佐藤さんの来訪がよいきっかけとなり貴重な場が持てた」との声も。支援企業の紹介にもつながりました。

PROJECT 02

こども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業
—多世代がつながり子どもを見守るまちづくりを目指して—

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として、2021年度休眠預金通常枠では、22年4月～25年3月の3年間、新潟・山口・佐賀・熊本・鹿児島などのこども食堂の活動活発化・継続化をはかる相乗効果を生む基盤づくりと、こども食堂が地域資源循環のハブとなり、地域課題の解決のためにさまざまなステークホルダーと連携していくための仕組みづくりに取り組みました。

VOICE 仲間たちとの新たな仕組みづくり

一般社団法人さが・こども未来
応援プロジェクト実行委員会
コーディネーター（企業団体連携担当）
高山 哲也 さん



どの地域ネットワークでも重点課題である「支援獲得と分配のより良い仕組みづくり」に5県で取り組みました。めざす姿は同じでも、行政や社協、企業や金融機関など、5団体が巻き込んだステークホルダーは様々。それぞれが特徴的な仕組みにたどり着いています。少しでも他県の参考になれば嬉しいです。素敵な仲間と駆け抜けた3年間に感謝の思いでいっぱいです！

PROJECT 03

こども食堂同士の交流機会創出と課題解決プロジェクト

こども食堂同士のつながりづくりをサポートする取り組みの一つとして、地域ネットワーク団体が主体となって行う「こども食堂同士の交流創出と課題解決プロジェクト」を展開。特に市区町村ネットワーク単位で多くの交流会が開催され、運営者の方々が励まし合い、モチベーションの向上や悩みの解消につながる機会となりました。



VOICE 顔が見える関係で地域の結びつき強化

こども食堂北海道ネットワーク
事務局長 松本 克博 さん



北海道全域でのこども食堂の認知拡大を目指し、札幌市でパネル展を開催。多くの道民の方の関心が寄せられました。釧路地域、札幌・江別地域では支援者と運営者の顔が見える関係構築へのチャレンジとして、地元ネットワーク団体のご尽力により交流会を開催し、地域での結びつきが強化されました。

VOICE 交流会に参加したこども食堂よりコメント

- 札幌・江別地域交流会：ティーパーティー形式でドーナツを頬張りながらの肩の凝らない交流会がとても楽しかったです。是非2回目を企画してほしいです！
- 釧路地域交流会：子どものための「セーフガーディング（安全保護）」への思いを共有した学習交流会では沢山の気づきがあり、安全安心な居場所づくりの大切さを実感しました。

and more!

企業・団体との協働事業

こども食堂の支援活動に共感いただいた企業・団体と協働してさまざまな支援をつないでいます

PROJECT 01

資金的支援から、
地域ネットワーク団体との協働へ発展

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社からのご寄付を地域ネットワーク団体支援に活用する本事業は2年目となり、支援先の新潟県では県内店舗と地域ネットワーク団体が協働。複数のこども食堂でのワークショップ開催や、交流イベントへのブース出展など、地域内連携が広がりました。



VOICE 温かな繋がりを広げたい

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
マーケティング本部 広報部 Social Impact チーム
佐藤 千春 さん



「フードロス削減プログラム」による売上の一部をむすびえへ寄付させていただいております。また、寄付だけに留まらず1杯のコーヒーを通じて人と人が出会い、温かな繋がりを広げていくことを目指し新潟こども食堂・居場所ネットワークにこねっとと協働しています。

VOICE 子どもの笑顔があふれました！

新潟こども食堂・居場所ネットワークにこねっと
新保 絵梨 さん



むすびえのサポートで、スターバックスの皆さんと、県内こども食堂でのワークショップ開催、普及啓発イベント出展など協働が実現しました。本当にありがとうございます！どのイベントでもたくさんの子どもの笑顔が咲きました。

PROJECT 02

物価高騰に対応し「長期休みこども食堂
応援キャンペーン」を開始

こども食堂「困りごと調査」で明らかになった物価高騰の影響に対応し、経済同友会とむすびえの協働発信で企業合同のキャンペーンを開始。2024年度の冬休みには、お米、食材、おもちゃなど、さまざまなギフトを全国約1,500カ所のこども食堂に届けました。



VOICE 給食のない期間も「おいしい」を

オイシックス・ラ・大地株式会社
コーポレートコミュニケーション部 部長 WeSupport Familyリーダー
大熊 拓夢 さん



給食がない長期休みは、様々な課題も生まれます。冬休みギフト企画に、当社と、当社が事務局を務める食支援プラットフォーム WeSupport Familyとして参画。たくさんの「おいしい」の反響が嬉しかったです。この取組みが、地域全体で子どもたちを支える温かい社会を育む一助となれば幸いです。

VOICE おいしさ、わくわくを延べ1万人以上に

千葉市子ども食堂ネットワーク
事務局長 田中 照美 さん



「冬休みこども食堂応援わくわくギフト」は当ネットワークを通じ市内50カ所のこども食堂及びこどもたちの居場所、校内居場所カフェなどで配られ、延べ1万人以上に「おやつを通じたわくわく」を届けることができました。本当にありがとうございました。

PROJECT 03

こども食堂体感
「ラーニングジャーニー」が
支援開始のきっかけに

こども食堂支援に関心が高い企業・団体が対象の体感型プログラム「ラーニングジャーニー」を17社と実施。実際に足を運び現場を体感し、何ができるかを一緒に考えます。こども食堂の理解度が深まった参加者からは早期支援開始が実現しています。

VOICE 子どもたちの
ニーズを実感できた

NEC ネットエスアイ株式会社
総務部 社会貢献グループ
マネージャー 林 淳一 さん



社員に自分ごととして社会貢献に一步踏み出してもらうことが目的でした。私自身、利用者の子の「調味料がほしい」という言葉で食べる選択肢が限られていることに気づかれ、微力ですが調味料の寄付や、グループ会社と接続し春休みの食料支援に参加。気づきの機会をいただいたむすびえに感謝いたします。

VOICE こども食堂の
魅力知ってもらえた

こども食堂がまる
会長 宮本 明彦 さん



2017年からこども食堂の活動をしており、長く継続させたいと強く思っています。ラーニングジャーニー先に行けるまるが選ばれて嬉しかったです。参加企業の皆さまは士気が高く、こども食堂の魅力を持って帰る熱意を感じました。見えない苦労もありますが、応援してくださる方が増えることは非常に心強いです。

and more!

調査・研究事業

「こども食堂 全国箇所数調査」をはじめ、
こども食堂の意義や実態を伝え、理解を広げる調査・研究を行っています

PROJECT 01

多様な価値をデータで示す

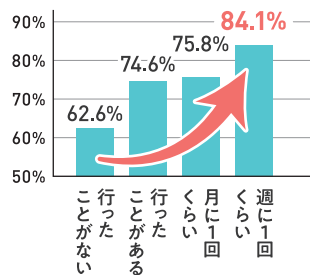
① こども食堂への参加者の
変化を捉える定量調査② こども食堂の
参加者・非参加者調査

こども食堂に10回以上参加経験がある子どもや保護者は9回以下の人よりも、こども食堂に「悩みを相談できる」「困った時に助けてくれる」人があると思う割合が高く「安心できる場所」と感じる子どもが多いことが明らかに。また、参加している子どもは「地域に悩みを相談できる人がある」割合が非参加者に比べ12ポイント高いなど、地域への信頼感や安心感が高く、参加頻度が増すほど高まることがわかりました。

VOICE むすびえ担当者 山田・町田 より

こども食堂の多様な価値や効果を数字で示し、理解と活動の輪を広めることを目指して行いました。これまで、こども食堂での変化などエピソードを収集・発信してきましたが、データで示し、より多くの理解を得たいと考えました。参加者に関する全国規模の調査は他に例がなく、結果を発信し、これからの支援活動にも活かしていきたいです。

「地域に悩みを相談できる人がある」
と回答した子どもの割合



こども食堂に行く頻度

参加者の
変化を捉える
定量調査こども食堂の
参加者・
非参加者調査

PROJECT 02

運営者の声を知る
～「こども食堂の現状&困りごとアンケート」～

「みんなで会場に集まって食べる」会食形式のこども食堂が83.5%とコロナ禍以前の水準に回復の一方、88.5%が物価上昇の影響を実感。また、「運営資金」「食材」の不足が困りごとの上位に上がり、寄付してもらいと嬉しい食材・物品では「米」が最多の80.1%でした。むすびえは、本調査結果に対応する取り組みを実施し、こども食堂を応援しています。

寄付してもらおうと嬉しいもの

1位 お米 80.1%
2位 お菓子 64.6%
3位 おかず類 64.5%

こども食堂の
現状&困りごと
アンケート2024

VOICE むすびえ担当者 南谷より

こども食堂の現状と困りごとを現場の声から知り、必要な支援につなげることを目指し、運営者の皆さんに現状や困りごとについて聞くアンケート調査を、新型コロナが国内で確認された2020年から定期的に実施。物価高や米不足など、その時々困りごとや、資金やスタッフの不足といった慢性的な困りごとを明らかにしています。

PROJECT 03

多様な場所での
「こども食堂」開催促進を目指した実態調査
～社会福祉施設におけるこども食堂・多世代交流の
取り組み実態調査～

回答した511施設中、75施設（14.7%）がこども食堂を実施。その結果、「子どもや保護者の支援」（70.7%）「子どもの居場所」（54.7%）「地域の多世代交流の場」（52.0%）に加え、「施設への地域の理解醸成」（69.3%）「施設利用者と地域住民の交流」（44.0%）「関係者のモチベーションの向上」（38.7%）など、社会福祉施設ならではの成果が見られました。

社会福祉施設で
こども食堂を実施した成果施設に対する地域の理解醸成や、
施設と地域とのつながりができた

69.3%

社会福祉施設に
おけるこども食堂・
多世代交流の
取り組み実態調査こども食堂
多様なカタチ
(YouTube動画)

VOICE むすびえ担当者 井上より

こども食堂の多くは任意団体やNPO、個人によって運営されていますが、企業や団体の取り組みも広がっています。今回の結果から、こども食堂の実施によって子どもたちや地域、施設利用者・関係者にも良い変化が見られ、社会福祉施設ならではのメリットも明らかになりました。調査結果や好事例の発信を通じ、より多様な場所でもこども食堂の取り組みが広がることを願っています。

and more!

05

ご支援でできたこと

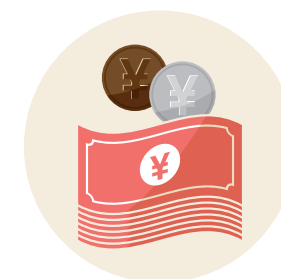
Accomplishments



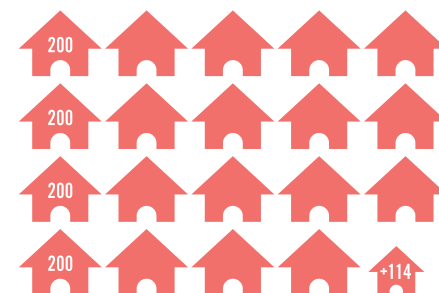
個人支援者の皆さま、企業・団体の皆さまからのあたたかなご支援・ご寄付は
全国のこども食堂に、資金・物資・多様なプログラム提供など
さまざまな支援としてお届けすることができました

● 資金支援

ファミリーマートとの協働での助成事業、ソルハグループ「こども食堂ゆたかき基金」、マルエツ・むすびえこども食堂基金 mini、むすびえ・こども食堂基金、令和6年能登半島地震 こども食堂応援助成、こども家庭庁「ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業」等の助成事業を通じて



のべ
3,914 団体に対し
総額 6億9,600万円
助成

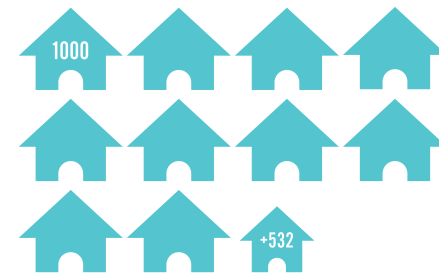


● 物資支援

食料品に限らず、玩具、文房具、家電製品、住宅設備品、衛生用品など現場ニーズに基づいて、多様な物資を仲介



のべ
10,532 団体に対し
物資を仲介
*4.7億円相当(売価換算)



ともに、こども食堂の歩みを支えてくださる皆さまに、心より感謝申し上げます

● 個人支援者数



11,091人

[内訳]

継続寄付 8,651

単発寄付* 2,440

(* 遺贈15件を含む)

● 法人支援者数



781 法人

[内訳]

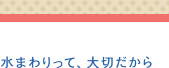
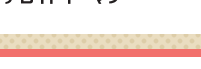
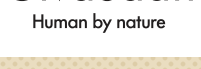
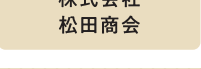
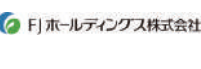
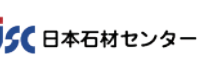
寄付支援 688

受取助成金 8

物資支援 85

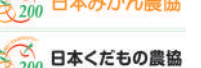
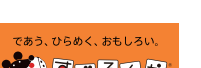
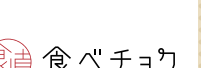
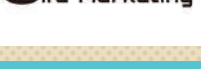
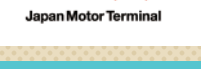
ご支援いただいた企業・団体の皆さま

資金支援

むすびえの「誰も取りこぼさない社会を目指した社会活動」へ共感していただいた、多くの企業・団体の皆さまからご支援をいただきました。おかげさまで全国のこども食堂へさまざまな支援を届けることができています。本当にありがとうございます。

物資支援

助成金

※リビングアムニティ協会「ALIAこども応援プロジェクト」賛同企業 AGC株式会社（AGCテクノグラス株式会社）/ 株式会社田窪工業所 / 大阪ガス株式会社
セイキ販売株式会社 / パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 / 三協立山株式会社（タテヤマアドバンス社）/ 新コスモス電機 / タカラスタンダード株式会社
大建工業株式会社 / 東京ガス株式会社 / TOTO株式会社 / 株式会社ノーリツ / 株式会社バロム / 株式会社LIXIL / リョービ株式会社 / リンナイ株式会社 / YKK AP株式会社

他にも多くの企業・団体から多大なるご支援をいただきました。詳細はホームページをご覧ください。▶



06

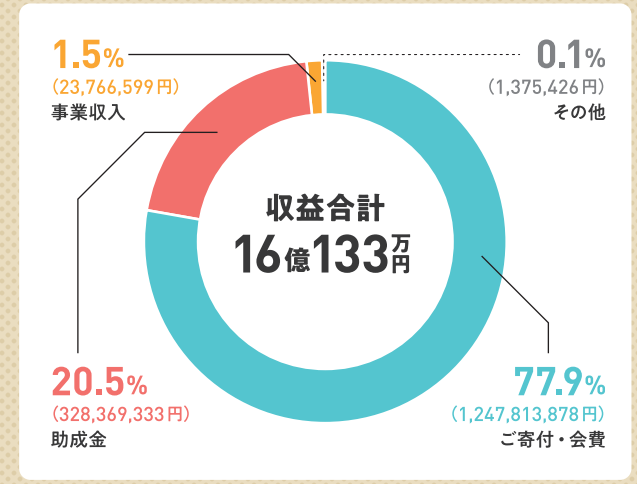
財務報告 Financial Report

2024年度 活動計算書 (単位は全て円)

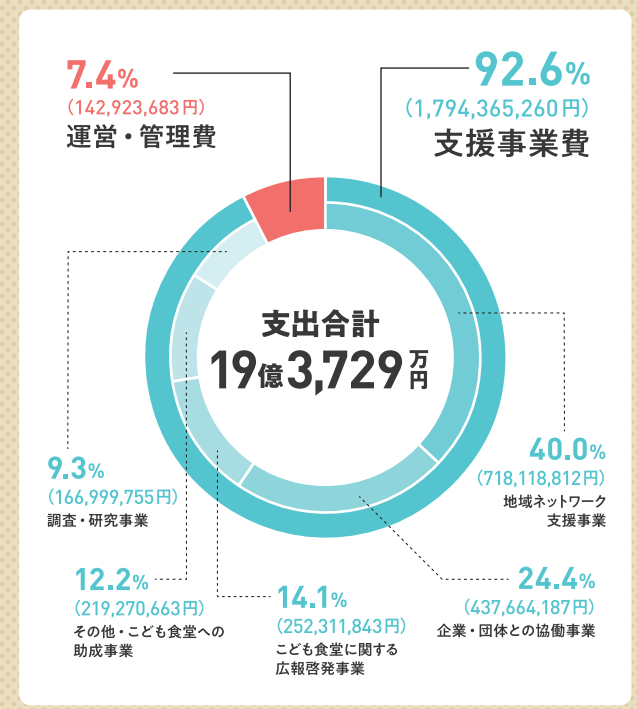
科目	金額
A 経常収益	
① 受取会費	215,000
② 受取寄付金	1,247,598,878
③ 受取助成金等	328,369,333
④ 事業収益	23,766,599
⑤ その他の収益	1,375,426
経常収益計	1,601,325,236
B 経常費用	
① 事業費	1,794,365,260
(1) 人件費	317,679,905
(2) その他経費	1,476,685,355
② 管理費	142,923,683
(1) 人件費	42,853,030
(2) その他経費	100,070,653
経常費用計	1,937,288,943
当期経常増減額 【A】-【B】=①	-335,963,707
C 経常外収益	
経常外収益計	0
D 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額 【C】-【D】=②	0
税引前当期正味財産増減額 ①+②=③	-335,963,707
法人税、住民税及び事業税 ④	411,000
前期繰越正味財産額 ⑤	708,533,416
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤	372,158,709

2024年度は、こども食堂が全国で初めて1万カ所を超え、人々により身近な存在となる「地域のインフラ」にまた一步近づいた、むすびえにとって、大きな節目となる一年でした。そのような中、当団体の経常収益は16億133万円となり、対前年比で2億4,904万円の増収となりました。収益の77.9%は寄付金、20.5%は助成金で構成されており、特にマンスリー・サポートを中心とした継続的な寄付、法人寄付や遺贈寄付などが収益の伸びを大きく牽引しました。一方、2023年度に引き続き、令和6年能登半島地震に関する財政面での支援、こども食堂のスタートアップ支援、経済同友会との協働発信企画である「長期休みこども食堂応援キャンペーン」や、企業等からの支援物資提供・仲介にも積極的に取り組みました。

収益の内訳



支出の内訳



・活動計算書と貸借対照表の全文は、当団体のHPで閲覧可能です。
・当団体監事の稲村 有人からは、監査の結果、理事の業務執行は、法令、定款及び事業計画に基づき執行され、不正の行為または法令・定款に違反する重大な事実はない旨、報告がなされています。2024年度の決算報告の詳細ならびに監査報告書につきましては、当団体のHPにてご覧いただけます。

また、広報啓発事業にも重点を置き、全国の地域ネットワーク団体等と協働しながらAC広告の活用を積極的に行い、より一層こども食堂の正しい理解を促進することに努めるなど、本年度は、活動内容・範囲の拡大に伴い事業費の支出を積極的に推し進めました。その結果、総事業費は対前年比で6億3,381万円(対前年比54.6%)増の17億9,437万円(うち助成金及び寄付金の支出は7億2,215万円)に上り、最終的に、税引後当期正味財産増減額は▲3億3,637万円となりました。2025年度は、2023年度に策定した「第二次中期計画」に掲げる、こども食堂20,000カ所(小学校区に1カ所以上ある状態)の実現に向けて、こども食堂の立ち上げ支援のさらなる強化と継続支援に一層取り組み、積極的に資金を充当してまいります。

むすびえ役員体制変更のお知らせ

Change of Executive Structure



むすびえは2025年6月16日(月)に開催された正会員総会および理事会の役員選任決議をもちまして、役員体制を変更いたしました。創設時より理事長としてむすびえの活動をリードしてきた湯浅誠、および2022年から理事として活動を支えてきた渋谷雅人が退任し、むすびえ創設メンバーのひとりであり、これまで理事として団体の成長に尽力してきた三島理恵が新たに理事長に就任いたしました。また、ディレクターの遠藤典子、2023年から顧問を務めてきた新田信行、そしてこれまで外部専門家としてむすびえに関わってきた番野智行の3名が新たに理事に加わりました。理事の金洋浩、監事の稲村有人は留任します。新理事長の選考においては、2024年5月に他NPO・こども食堂関係者・外部専門家など、第三者を含む「候補者選任のための資質委員会」を立ち上げ、候補者の資質について検討することから始めました。次に、むすびえ役職員や外部関係者によって候補者を選定する「選考委員会」を発足させ、全12回にわたる検討を行いました。また、候補者が揃ったところでむすびえのメンバー全員を対象とした内部アンケートも実施し、それらをもとに、最終的に経営会議で決議されました。なお、湯浅は中央省庁や自治体に関わる「公共政策アドバイザー」として、渋谷は引き続き全国の地域ネットワーク団体の発展を支援する「地域ネットワーク団体支援ディレクター」と、新たにむすびえ内部の人材育成に関わる「組織開発ディレクター」として、役員退任後も引き続きむすびえの活動に参画してまいります。

役員からのメッセージやプロフィール等詳細はコチラから





Mishima Rie
理事長
三島 理恵



Endo Noriko
理事
遠藤 典子



Nitta Nobuyuki
理事
新田 信行



Banno Tomoyuki
理事
番野 智行



Kim Yangho
理事
金 洋浩

Annual Report 2024

2024年度 活動報告書

むすびえを通じて、子ども食堂支援の輪にご参加ください！

寄付で参加する

1回のみ寄付、継続した寄付、遺贈寄付など多様な方法があります。

※むすびえは東京都の認定を受けた認定NPO法人です。ご寄付は、寄付金控除の対象になります

詳細はHPへ！



モノを寄付して参加する

お家にあるモノ（本やDVD、ゲーム、はがき、切手、貴金属、記念硬貨）などのご寄付で参加いただけます。

詳細はHPへ！



むすびえメンバーからのメッセージ

2024年度の活動報告書完成のお知らせと共に
むすびえメンバーからのメッセージをお届けします。

Message



役員・顧問・アドバイザー

役員

理事長 三島 理恵

理事 遠藤 典子 / 新田 信行 / 番野 智行 / 金 洋浩

監事 稲村 宥人(早稲田リーガルコモンズ法律事務所 パートナー弁護士)

顧問

清原 慶子(子ども家庭庁参与/杏林大学客員教授/前東京都三鷹市長)

アドバイザー

齋藤 弘道(遺贈寄附推進機構株式会社 代表取締役)

脇坂 誠也(脇坂税務会計事務所 税理士)

関口 宏聡(NPO法人セイエン 代表理事)

長浜 洋二(モジョコンサルティング合同会社 代表)

鴨崎 貴泰(認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 常務理事)

湯浅 誠(社会活動家/東京大学特任教授/むすびえ前理事長)

むすびえとSDGs



SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月に国連加盟国193カ国が全会一致で採択した行動計画。貧困や福祉、持続的なまちづくりなど17の目標からなり、2030年までに目標を達成することを目指しています。むすびえでは、SDGsが掲げる17の目標のうち、6つに貢献します。



認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター

認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスエア新宿16F

TEL 03-6778-8230

Webサイト <https://musubie.org/>

むすびえ

検索

子ども食堂、むすびえに
関する情報を更新中！